

新領域グループ「トータルバイオミメティクス研究グループ」企画

最先端バイオミメティクスが生み出す 超高機能フロンティア ～知覚-情報処理-行動から発電まで～

Frontiers of super functionalities based on advanced biomimetics
～From perception-processing-action to power generation～

バイオミメティクス(生物模倣)とは、生体の構造・機能を理解し、そこから着想を得て、新しい材料開発・デバイス開発へ発展させる科学技術のことを言います。本シンポジウムは、最近のバイオミメティクスの進展をわかりやすく概観する場として企画しました。人工知能、センサー、アクチュエーター、発電などの分野で挑戦的な研究を展開する研究者に招待講演をお願いするとともに、最新の研究成果を一般講演で募集します。個々の生体機能を総合的に俯瞰・理解し具現化するための学理構築、および社会実装に向けたビジョンを共有する分野横断的コミュニティの形成を目的とします。

日時：2020年9月10日(金)13:30～18:30
会場：ハイブリッド開催(名城大学&オンライン)

招待講演 (敬称略・五十音順、仮題)

浅井 哲也 (北海道大学)

ニューロモルフィック情報処理とその集積システム

岡本 章玄 (NIMS)

ナノモラー添加剤による微生物発電の二桁加速が進むメカニズム

竹内 昌治 (東京大学)

バイオハイブリッドが拓く超高機能デバイス

谷口 正輝 (大阪大学)

生体ナノポアの識別機能を越える



トータルバイオ
ミメティクス
研究グループHP

世話人：土屋 敬志 (NIMS)、小野 新平 (電中研)、小塚 裕介 (NIMS)
問合せ先：TSUCHIYA.Takashi@nims.go.jp